

「伝わる」情報提供による地域防災力の底上げを目指して

R3.12.17

～ 第2回 滋賀県域メディア連携協議会を開催しました ～

琵琶湖河川事務所

- 『滋賀県域メディア連携協議会』（以下、協議会）では、令和3年3月1日の発足以降、行政が発信する水害・土砂災害等のリスク情報が地域の人々の避難行動に結びつくよう、マスメディア等と連携した情報提供・共有方法について議論してきました。
- 12月17日に開催された協議会では、令和3年度の洪水・土砂災害の被災状況や今年度の取組状況と共有するとともに、次年度以降の方針や関係機関の連携について協議しました。

第2回滋賀県域メディア連携協議会 開催概要

- 日 時 : 令和3年12月17日（金）13:30～15:00
- 場 所 : リモート形式による開催
- 出席者 : 日本放送協会 大津放送局、株式会社 ZTV、彦根地方気象台、滋賀県、琵琶湖河川事務所 計19名
- 議事内容 : 令和3年度の豪雨災害
滋賀県域メディア連携協議会の取組状況
各機関の取組状況等



リモート形式による開催状況



重点取組に関する情報提供、主な意見・提案

■重点取組1：河川カメラの活用に関して

○令和4年度から琵琶湖河川事務所とZTVが連携して、河川カメラ情報の映像提供を開始する。

■重点取組2：危険性のわかりやすい情報提供に関して

○令和3年6月に琵琶湖河川事務所と彦根地方気象台が勉強会を行い、協議会構成機関に防災気象情報の伝え方改善に関する解説を行った。また、防災用語ウェブサイトを開設し、メディアが住民に情報を伝える際のポイントや留意点等を簡潔でわかりやすい表現で整理した。

○次年度以降、琵琶湖河川事務所と彦根地方気象台のリモート形式による共同会見訓練の実施を検討する。

■重点取組3：地域防災力の向上に関して

○琵琶湖河川事務所ではマイ・タイムラインの紹介や作成を目的とした講習会やイベントを行っている。ZTVは開催予定のワークショップに可能な限り取材に行き、住民の防災意識向上に少しでも寄与したい。

○滋賀県がNHKの協力を得て、小学校の防災教育等で活用できる「しがマイ・タイムライン」を作成した。今後、「しがマイ・タイムライン」の作り方の解説動画も作成する予定である。

■その他

○滋賀県防災ラジオ協議会と県内のFMコミュニティとの共同制作で、県内の災害遺構を紹介する番組を検討している。

○行政による災害時の取組が迅速に情報伝達できるよう、行政とメディアとの情報共有の仕方を日頃から検討しておく必要がある。